

4号様式（第10条関係）

会 議 録（要 旨）

会 議 名	第1回武蔵村山市在宅医療・介護連携推進協議会
開 催 日 時	平成29年8月2日（水） 19時30分 ～21時10分
開 催 場 所	市民総合センター3階 小会議室
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席者：下田委員、小関委員、小山委員、宇津木委員、堀尾委員、高佐委員、柳川委員、新井委員、山岸委員、河西委員、宮沢委員、鹿取委員、佐藤（千）委員、内田委員、高齢・障害担当部長、高齢福祉課長、管理グループ主査、管理グループ主任、高齢福祉グループ主査、高齢福祉グループ主任 欠席者：佐藤（大）委員、五十嵐委員、 傍聴者：1名
議 題	報告事項1 平成28年度第4回会議録について 報告事項2 その他 議 題1 在宅療養ハンドブックの作成について 議 題2 多職種研修会の実施について 議 題3 在宅医療・介護連携推進協議会のあり方について 議 題4 その他
結 論 (決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。)	在宅療養ハンドブックを作成することとなった。記載内容については、今後の検討事項とする。 多職種研修会の実施について、平成29年度は1回とすることとなった。 在宅医療・介護連携推進協議会が、認知症初期集中支援チーム検討委員会を兼ねることとなった。また、各分科会の設置については、今後検討することとなった。
審 議 経 過 (主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。)	開会 《報告事項1 平成29年度第4回会議録について》 事務局：説明 委 員：質疑なし 《報告事項2 その他》 事務局：特になし 委 員：質疑なし 《議題1 在宅療養ハンドブックの作成について》 事務局：市民向けに在宅療養ハンドブックを作成した。公共施設や包括支援センター等での配布を考えている。内容等について意見をいただきたい。 委 員：ハンドブックの副題が「安心して在宅療養を始めるために」となっているが、すでに始める前提の人向けなのか。それともこんな選択肢もある、というきっかけを与えるためのものなのか。

委員：ターゲットを決めて作成するのならばもっと具体的に、在宅療養のきっかけづくりとして作成するならばバランスよく記載したほうが良い。

事務局：両方を意識しているが、入口として作成した部分大きい。

委員：この協議会で内容すべてを議論するのは無理がある。協議会では、ハンドブックを作成する・しないといったことやどういった人をターゲットにするのか、といったことを決め、内容については、分科会で作成するのはどうか。

会長：委員から意見が出たが、これについて異議はあるか。

委員：異議なし。ハンドブックは作成する。

事務局：内容については、他市作成のものを参考に今後つめていくこととしたい。

《議題2 多職種研修会の実施について》

事務局：例年、年2回多職種研修会を行ってきたが、他業務との関係から今年度は1回のみをしたいと考えている。また、テーマについては、今後の認知症施策を考慮し、前回に引き続き「認知症」を考えている。

委員：多職種研修は平成26年度から行っているが、今年度のテーマを「認知症」とすると、4年間で3回も同じテーマで研修をすることになる。多職種が集まっているのだから、ほかにもテーマがあるのではないか。

委員：実際に多職種が連携する際に困っていることをテーマにしたら良いのでは。

委員：実務の中で、難病や交通事故等で寝たきりとなったかたなどの在宅療養支援での対応で困ることがある。

委員：前回の研修会でのアンケート結果では「連携の実例と問題点」「リハビリ」「禁煙」「糖尿病」「感染症」「地域住民の健康維持」「地域包括ケア病棟と地域の連携について」等の要望があった。

委員：市内には回復期病棟が2か所、また、老人保健施設があり、地域の中での訪問リハビリという選択肢もある。リハビリに関する相談も少なくないので、リハビリをテーマにするのも良いのではないか。

委員：ケアマネジャー、医師、本人が考える「リハビリ」の意味合いが違っていると感じている。研修のテーマとしては良いと思う。

委員：研修会の回数については、1回では少ないと思う。関係づくりと考えると年2回にしたほうが良い。また、研修会準備を事務局だけで行うのは大変だと思うので、分科会を設置したらどうか。

会長：準備期間は3か月ほど必要なので、今から2回と考えると1回目は11月しかない。すでに予定が入っている場合があるので、今年度は1回とし、テーマは「リハビリ」と決定しても良いか。

委員：異議なし。

委員：研修会の役割分担はどうするのか。

事務局：当初、市が示した役割分担とし、テーマは「リハビリ」の方向で調整を行う。

《議題3 在宅医療・介護連携推進協議会のあり方について》

事務局：1点目は「認知症初期集中支援チーム検討委員会」の設置についてであるが、この協議会で兼ねたいと考えている。事例検討を行

